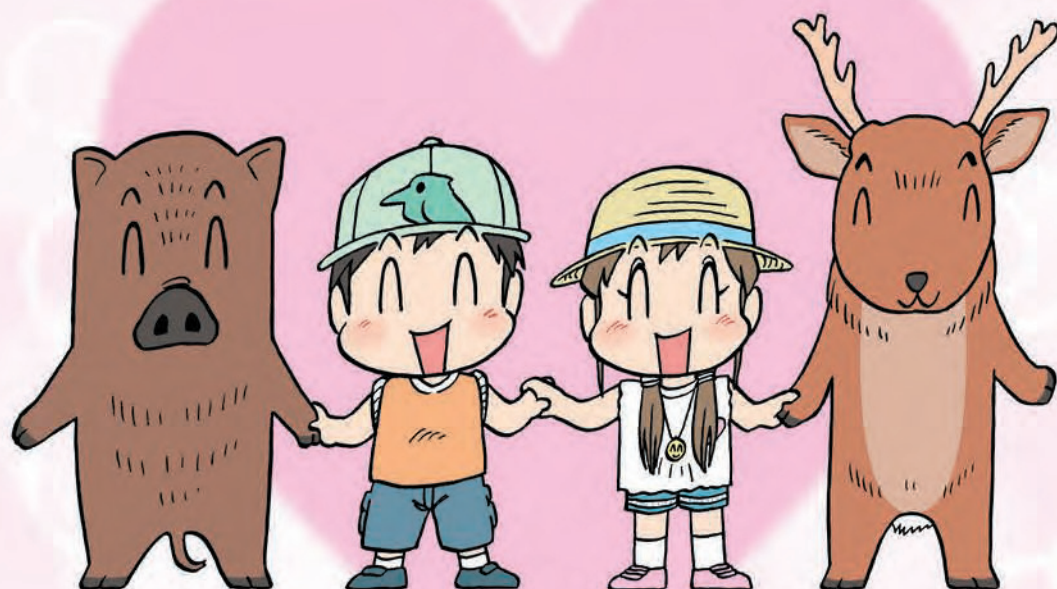
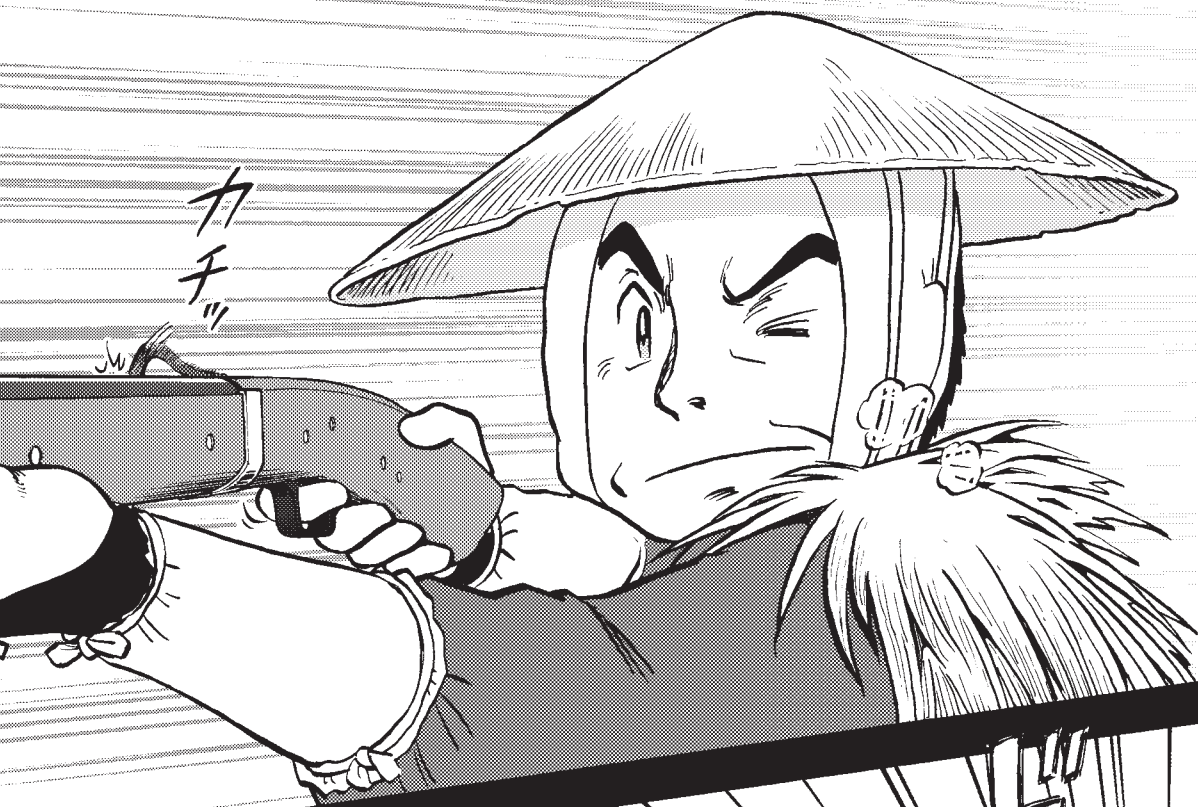


♪現代日本のイノシシ・シカ大問題♪



環境省

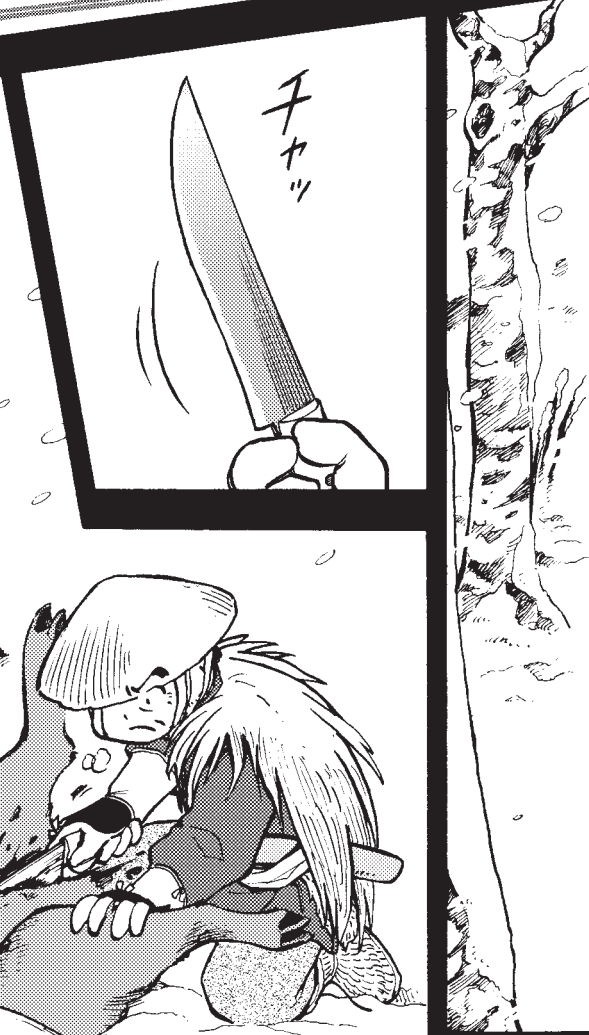
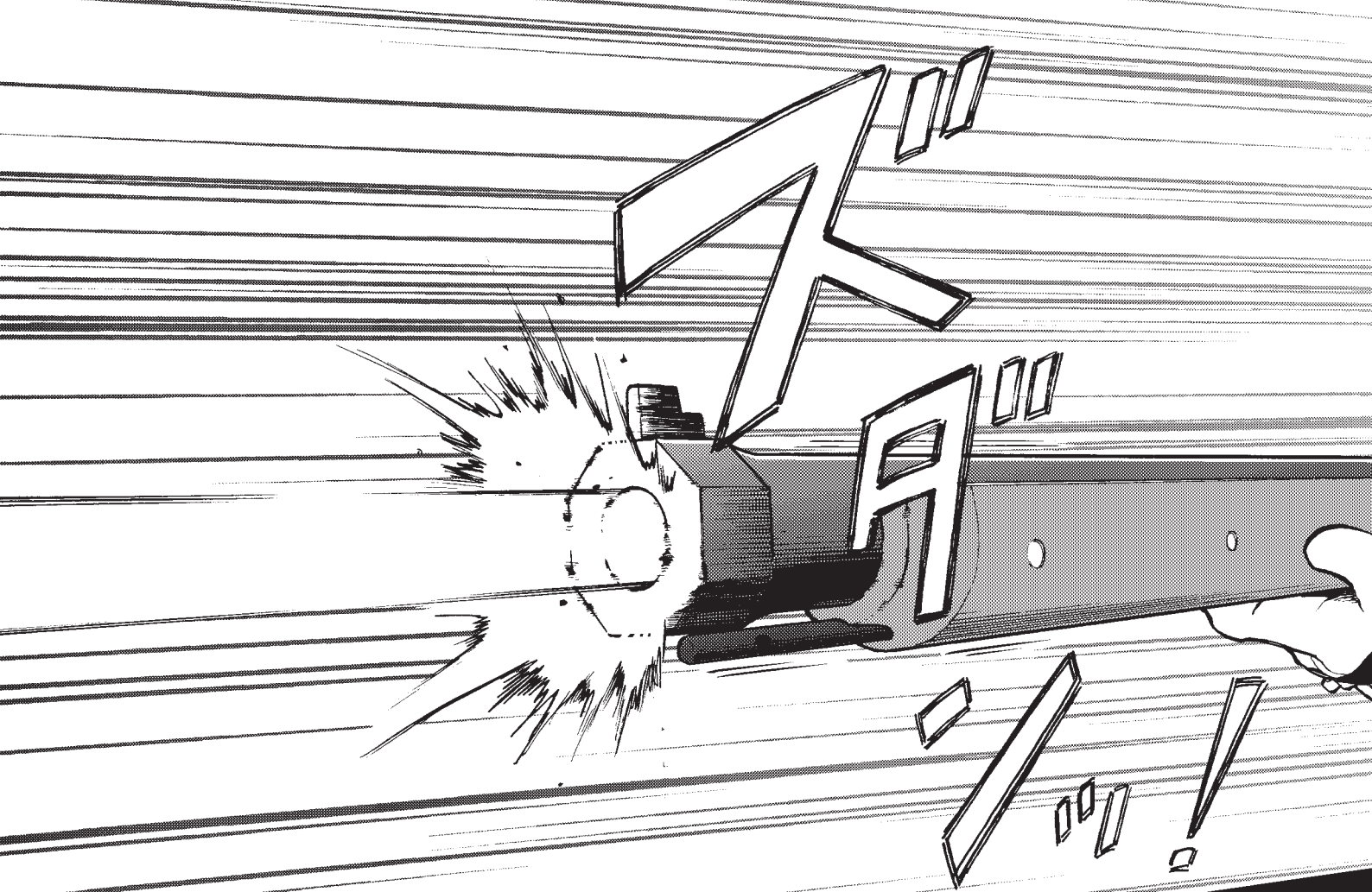
さかのぼること
えど
時は江戸時代——



おお、こがあとに
大きなシシを
仕留めたのは
久しぶりじゃのお

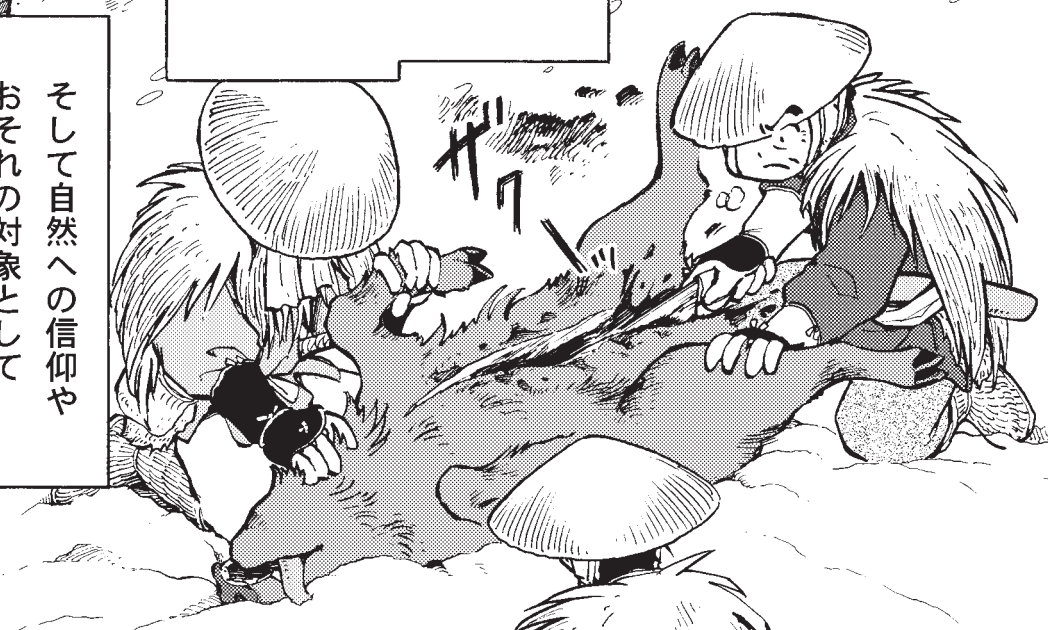
山の神さんに
感謝せにゃあのお…



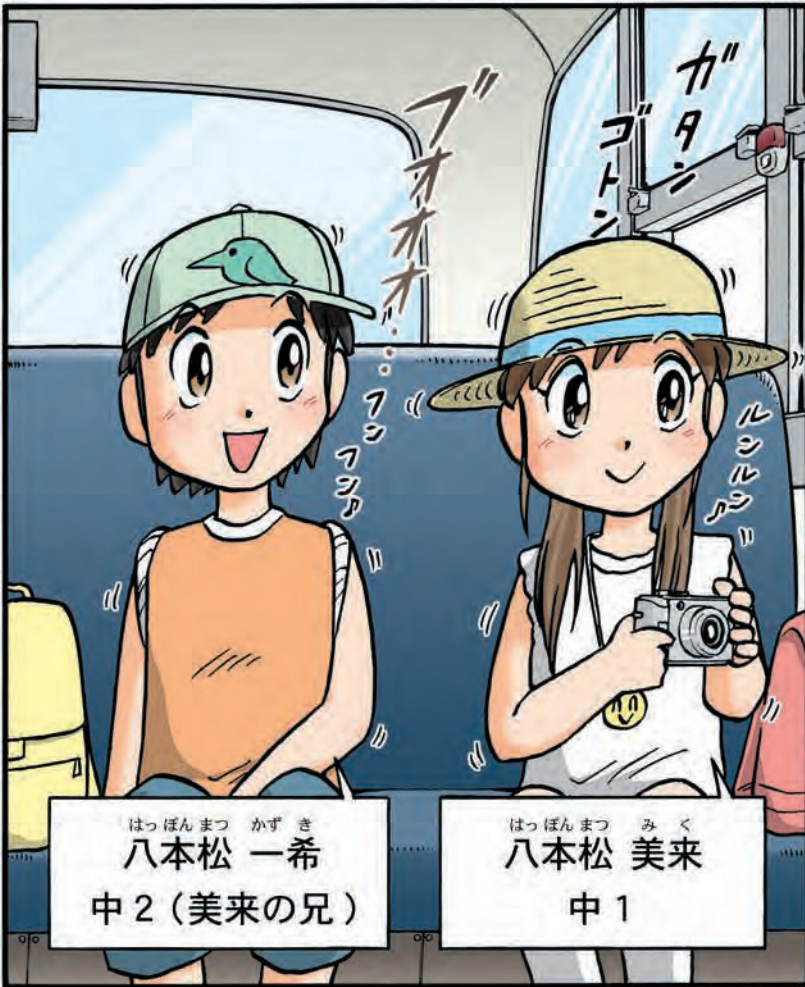


イノシシ・シカは
狩猟採集生活だった
縄文時代以前から
長い間、ずっと
日本人の貴重な
食料、生活の糧で
あった――

そして自然への信仰や
おそれの対象として
大切にされた一方、
田畑を荒らす
ものとして、敵視される
ところもあった――

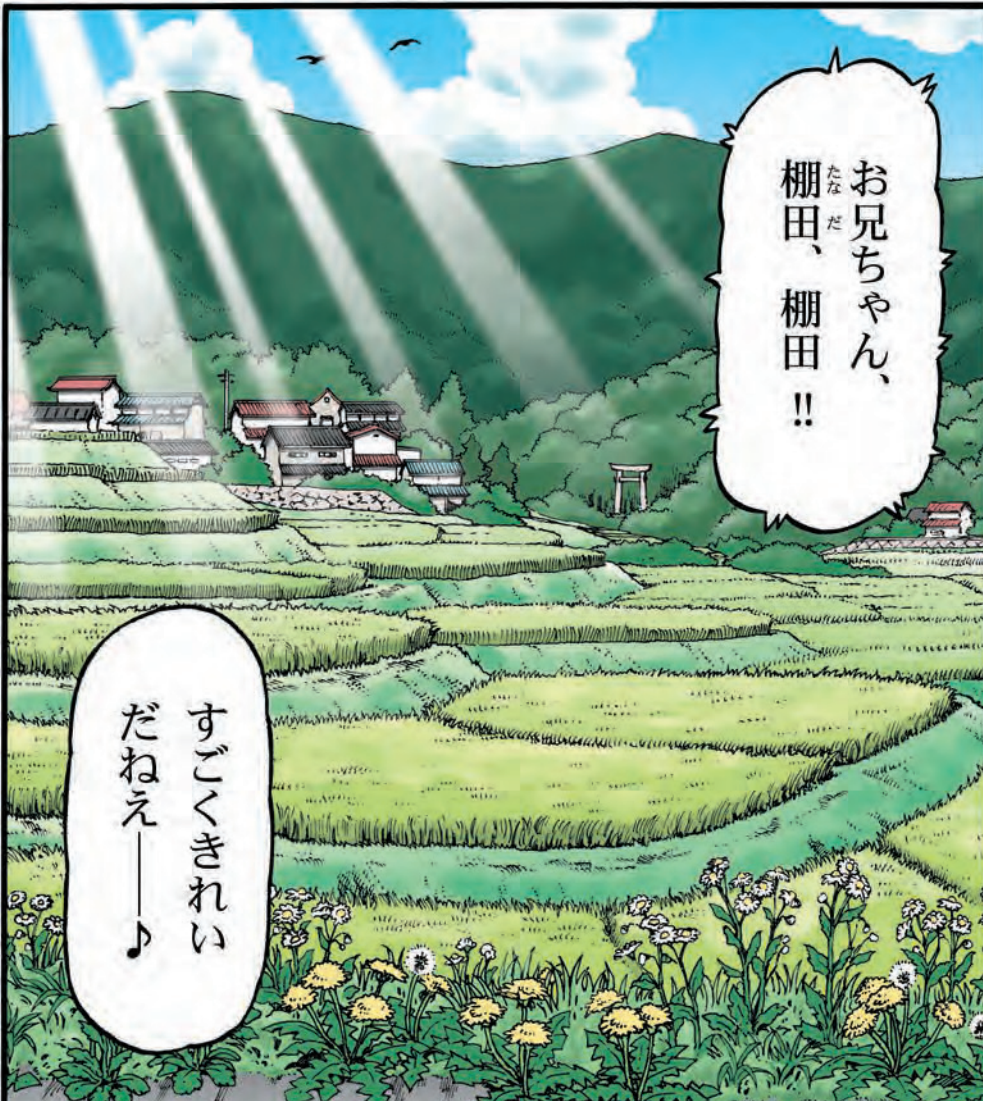
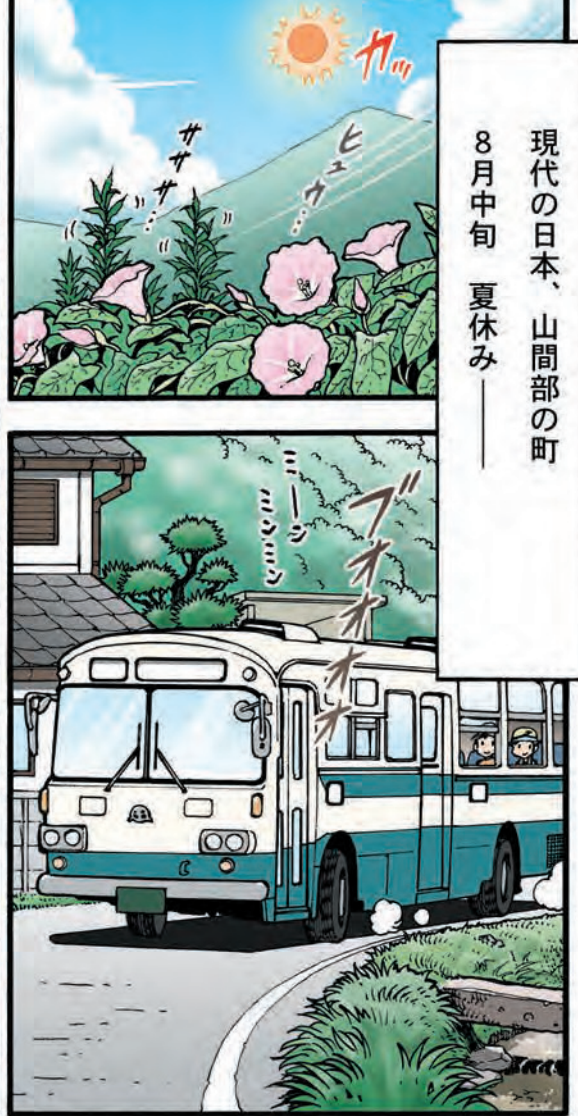


現代の日本、山間部の町
8月中旬 夏休み



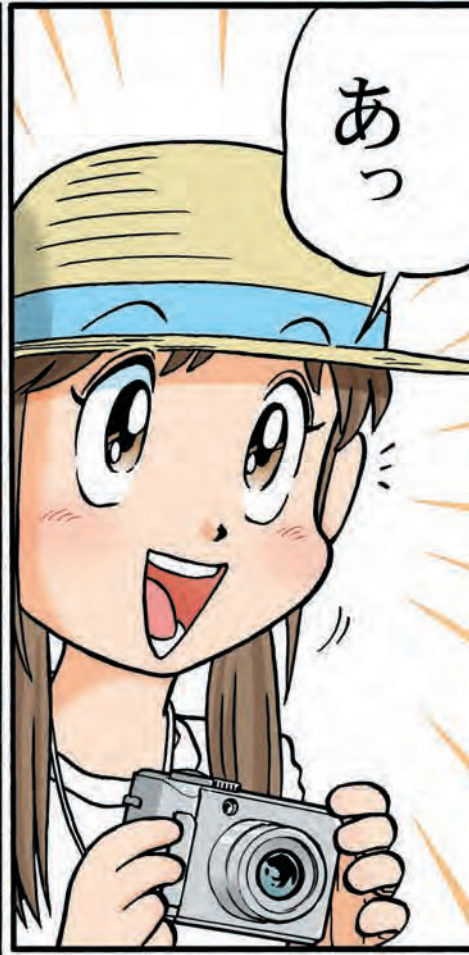
はっほんまつ かずき
八本松 一希
中2 (美来の兄)

はっほんまつ みく
八本松 美来
中1



すごくきれい
だねえ——♪

お兄ちゃん、
棚田、棚田!!





そろそろ
おじいちゃん
おばあちゃんの
家につくころ
だね

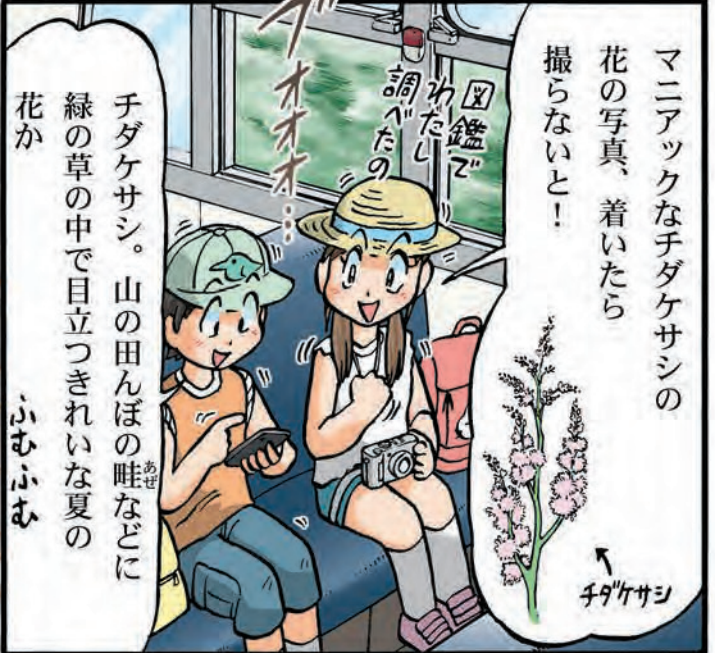


棚田

山沿いなどの傾斜地に
作った田んぼのこと



写真撮って
パパ、ママに
見せなきゃ



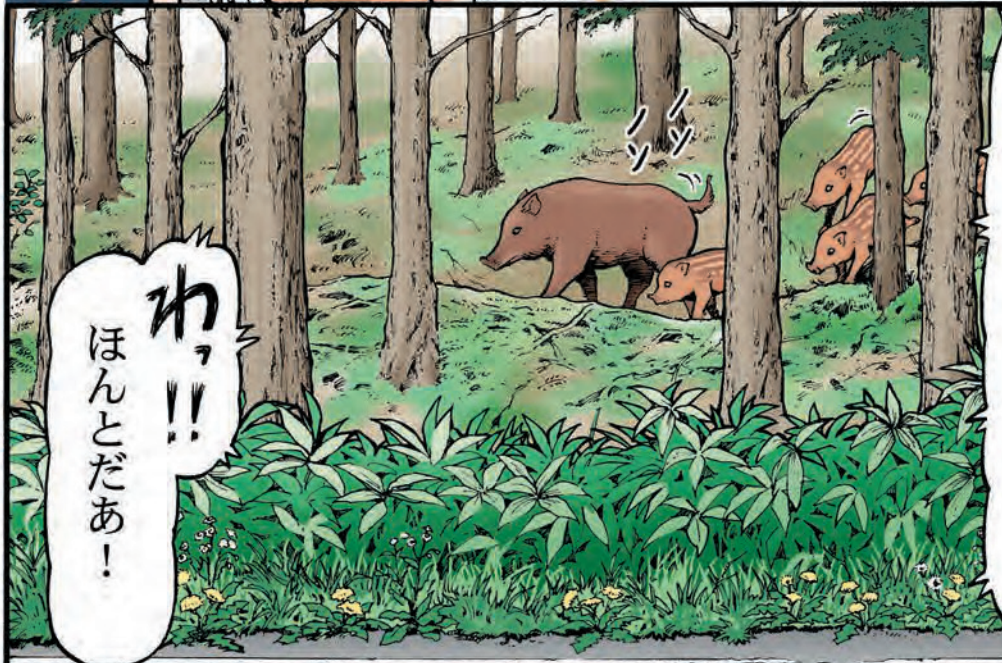
マニアックなチダケサシの
花の写真、着いたら
撮らないと!

チダケサシ。山の田んぼの畦などに
緑の草の中で目立つきれいな夏の
花か



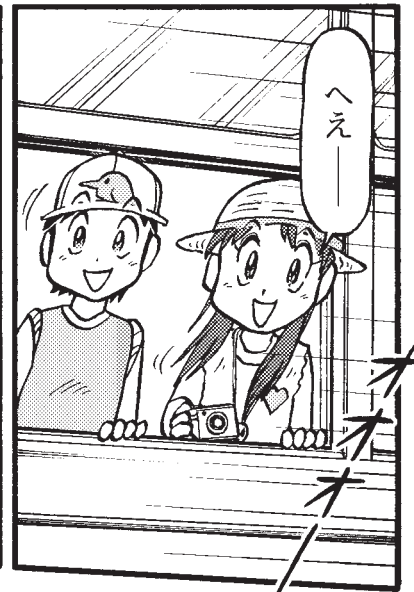
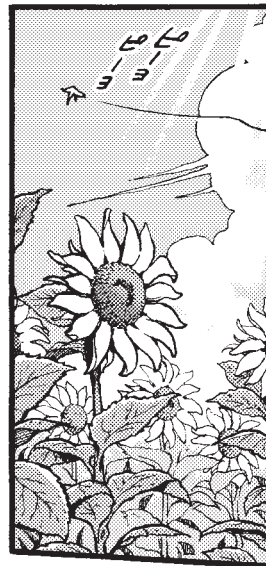
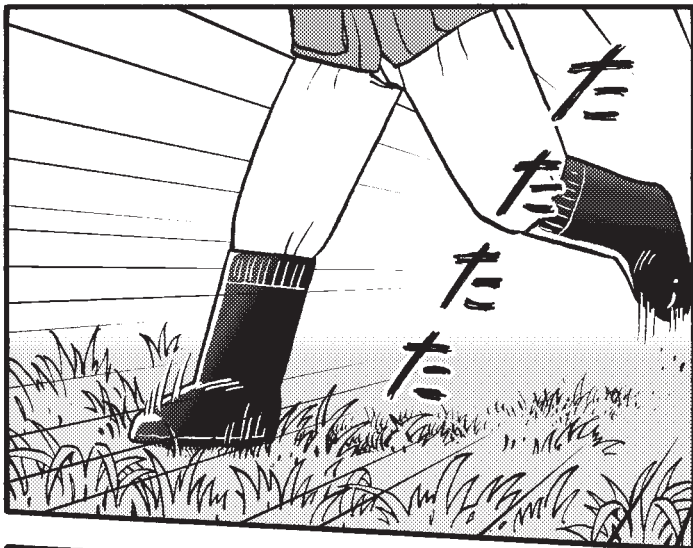
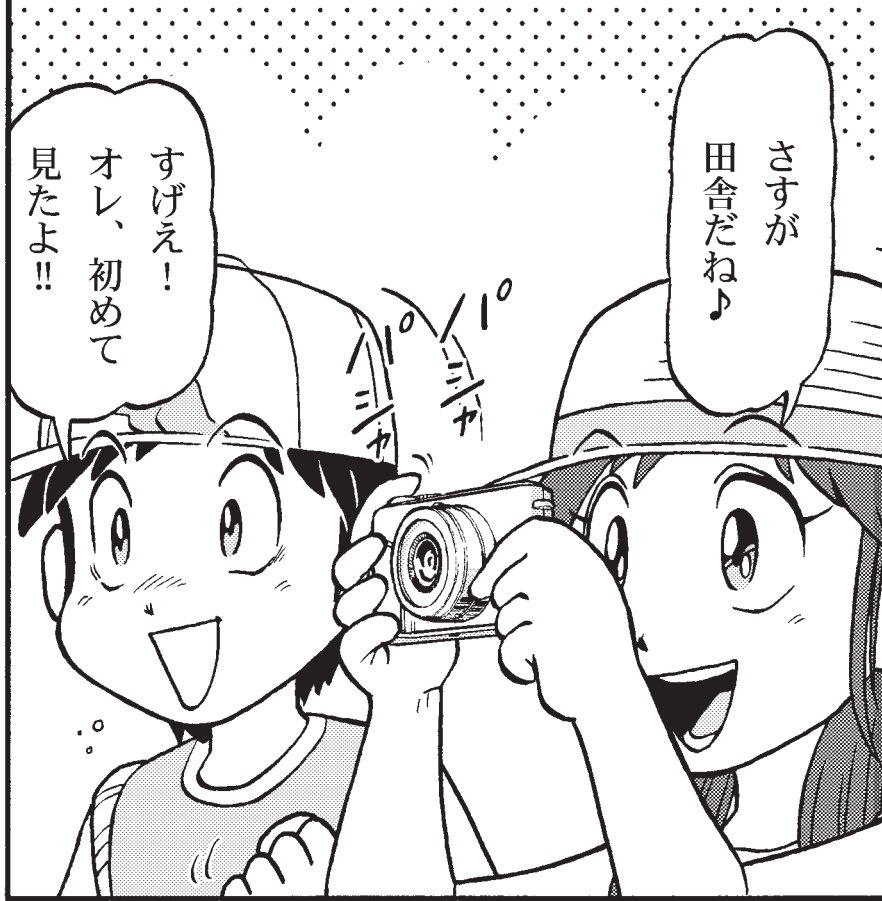
わあ!!

どうしたの?
お兄ちゃん



わ!!
ほんとだあ!

美来、見てみる!
イノシシだ!
山の中にイノシシが
いる!!





いや
北山さん
しょうが
ない

息があがって...

くそお
わりかったのお
山奥に逃がし
ちもうた



ゼン
ゼン

ガッ

たた



シシに壊されて
しもうた田んぼの
柵、もう少し工夫
してみるけえ...



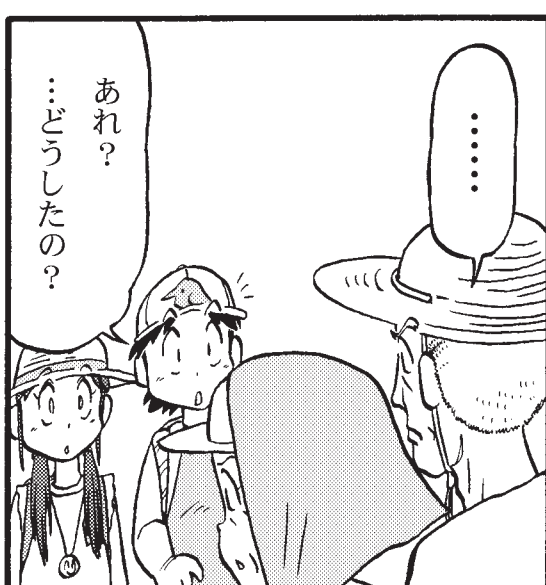
おお、
美来に
一希、
そうか
そろそろ
来る時間
じゃったなあ

よお
来たねえ



おじいちゃん、
おばあちゃん！

たたたた



あれ？
...どうしたの？



自然がいつぱい
だあ！

空気が
うまい！

ハハハハ



さつき
イノシシ見たよ。
ここは野生の
宝庫だね！

うんうん



シシが年々
すごい勢いで
増えとつてな

ほら、わしの
田んぼ
見てごらん

え？



確か、もう少しで
収穫ととできるん
だよな。お米つて…



ええ!?
イノシシが稲穂を
食べてるの!?

シシが稲穂を
食い散らかした
跡あとなんじゃよ



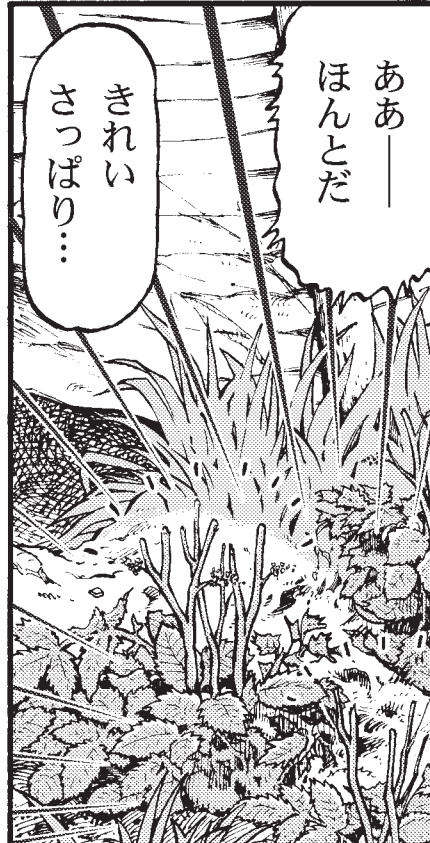
あれ?
なんだか
渦うずを
まいてると
いうか…

模様
がついてる…



畦あぜも踏みつけて
崩くずしとる

どうして
こんなことが
起こってるんだろう…



ああ—
ほんとだ
きれいな
さつぱり…



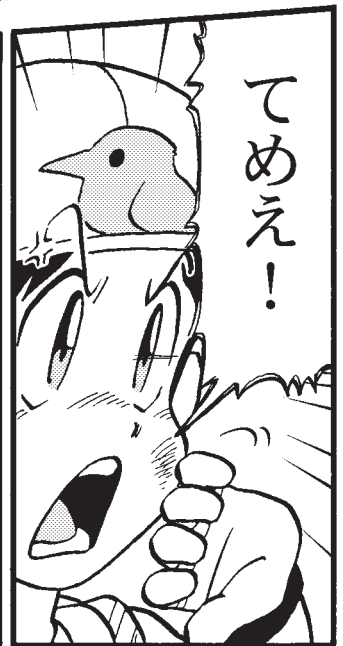
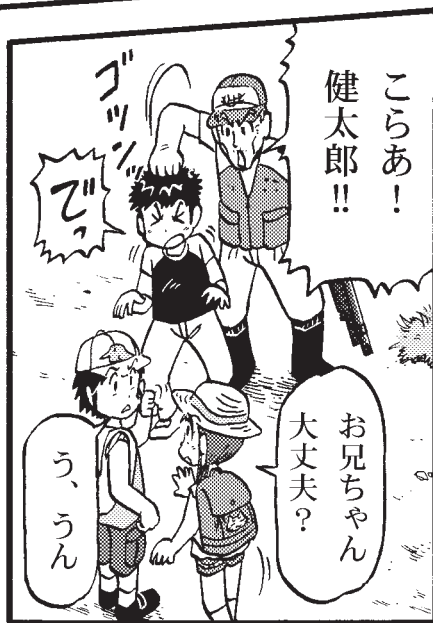
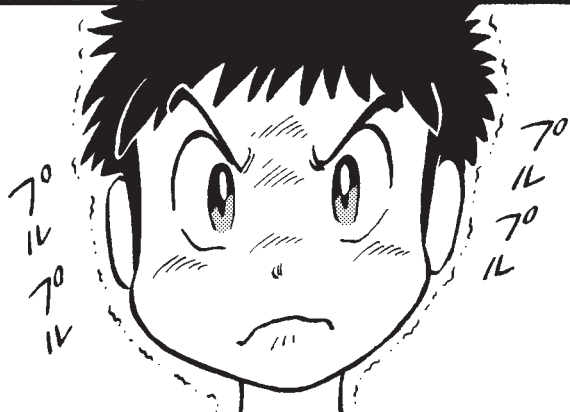
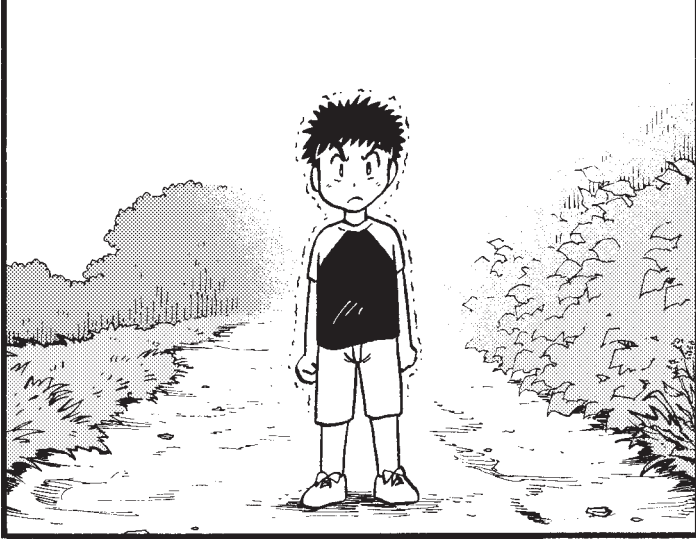
シシだけじゃなく、
シカも増えて
年々、被害ひがいが
全国に拡大
しておるんじゃ

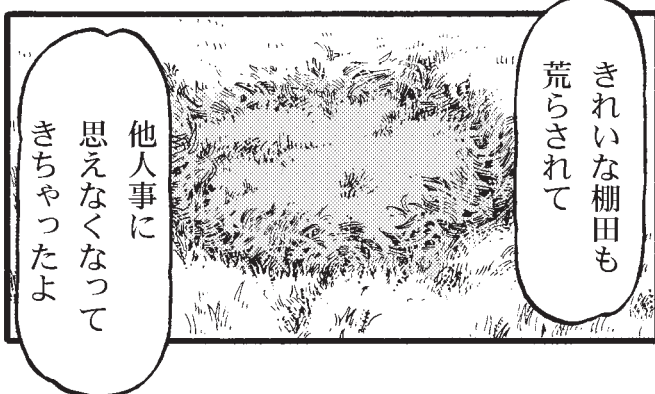
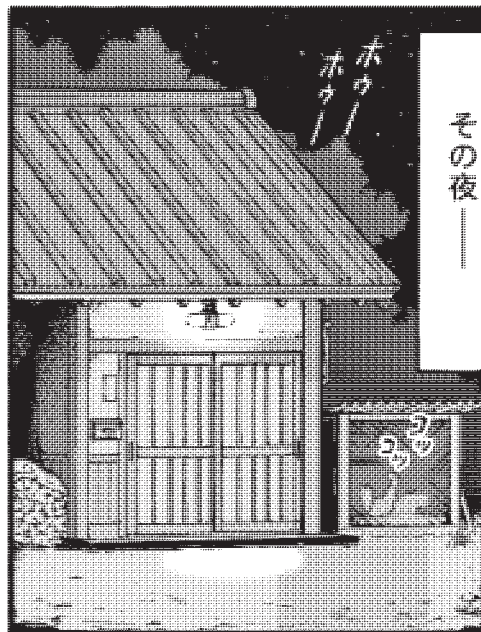
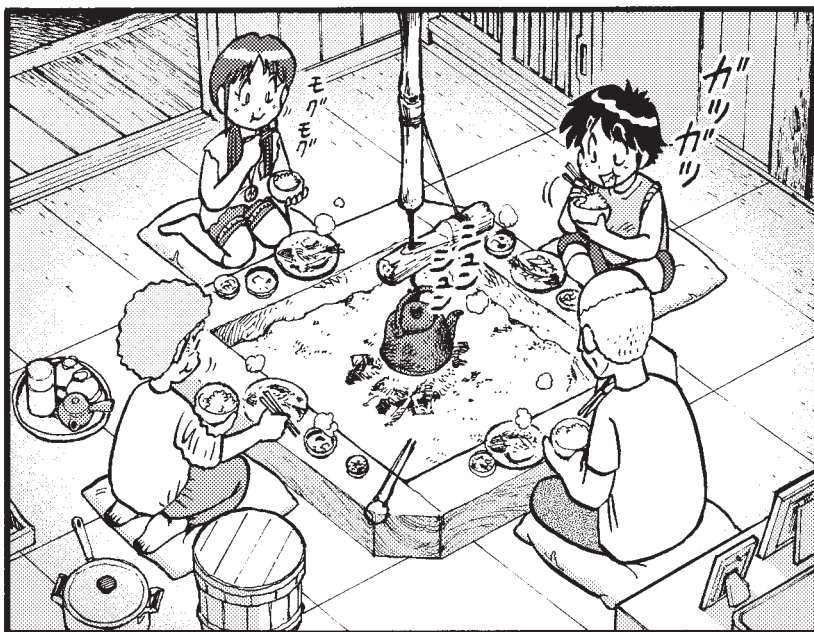
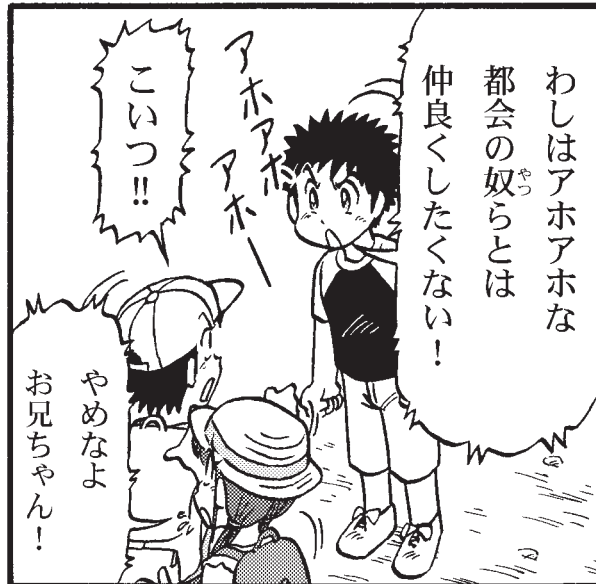
この町もじゃ…



ほら、美来
畦あぜを見てみい。
お前が写真を
撮りたいと言った
チダケサシの花も
シカに食われて
しもうたぞ

ええ!?





：美来、昔から、シシ・シカなどの動物と人間の間には常に軋轢あつれきがあつて、農民は被害を受けとつたんじゃよ

生活の糧かてにもなつとつた。

じゃけえ農家や專業の獵師りようしの人が捕とつていたんじゃ

それが今は多くの日本人は都会の生活を好んで、農家や獵師りようしのなり手がおらん

残こつた人は高齡化こうれいかしていなくなつてきておつてわしらも含まふくれるが――

そういう状況じやうきやうの中町は活気が減り

逆にシシ・シカが町に出てきてしまい、被害が大きくなつとるんじゃよ

…なるほど。

日本人が都会の生活を好んで…か

おじいちゃん、これから被害の対策はどうしたらいいのかなあ？

田んぼだけじゃなく、畑や森の中まで被害は進んぞる

・シカが笹やぶを食べて鳥が住める場所がなくなる

・イノシシが絶滅しうな植物を掘りかえす

などなど



このままじゃと、
一希や美来たちの住む
都会まで被害は進んで
いくじゃろうのお



そう
なんだ…

うーん、山のふもとの街でも
被害が出てるみたいだ



ト
ト
ッ



えええッ！
それは
大変じゃん！！

なんとか
しないと

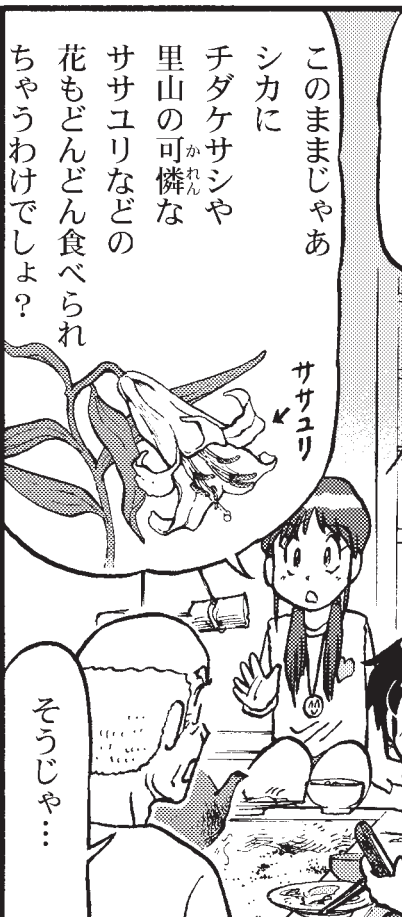
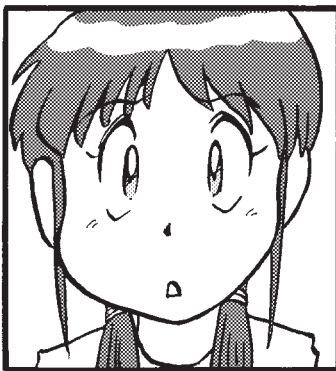


シシに人がかまれたり、
車との衝突事故も
起こつとる



田畑に柵を巡らせ
追い払うだけじゃあ
山や都会で被害が出る

…駆除じゃ



どうしたら
いいの？

このままじゃあ
シカに
チダケサシや
里山の可憐な
ササユリなどの
花もどんどん食べられ
ちゃうわけでしょ？

ササユリ

そうじゃ…



そう。
かわいそうじゃが、
殺して数を減らす
しかないんじゃ



えっ
駆除って…
もしかして…



殺す!?

それはオレ、
抵抗ある
なあ



お前は殺した
ブタを食べて
おるんじゃ

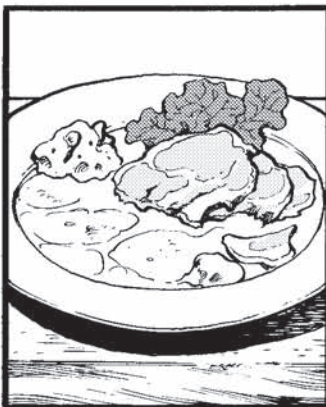


ブタはイノシシが元祖なの!?



一希…
今、お前が
食べておる
ブタのハム
ブタはシシを人間の
都合のいいように品種改良
したもんじゃないよ

ええ!?





うーん



元は生き物だったんだよね

わたしたちは他の生き物の命をもらって生きてるんだ…



そうか…
そうだよな。
そんなこと考えたことなかった

なんだか
おいしく
なくなつて
きちゃつたよ

ちよつと生々しく
言い過ぎて
しまつたかのお



わしもそう思うとる
わしは米作りを長年やってきて、台風、日照りなど体験してきた

自然は人間の
思うように
ならん。じゃが…



ねえ、最近、
“自然との共生”って
盛んに言われ
始めてるじゃない？

だからわたし、ただただ
殺していくだけだと
自然がおかしくなるような
気がするんだけど



米も野菜も少し
くらいなら動物に
くれてやってもええが、
根こそぎ食われては
暮らしが成り立たん。
困つた問題じゃ



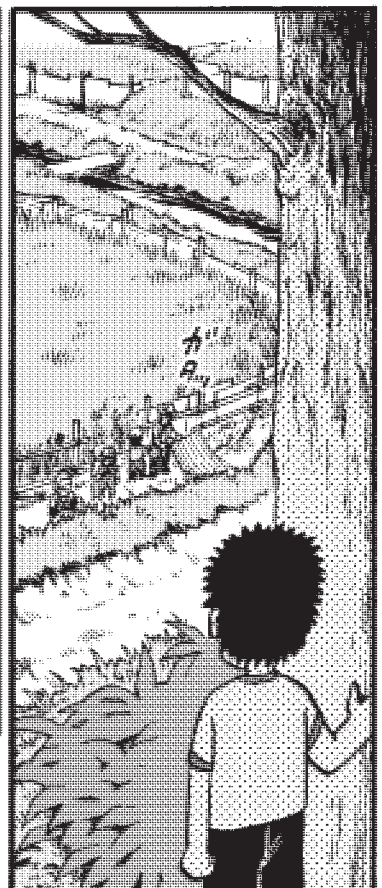
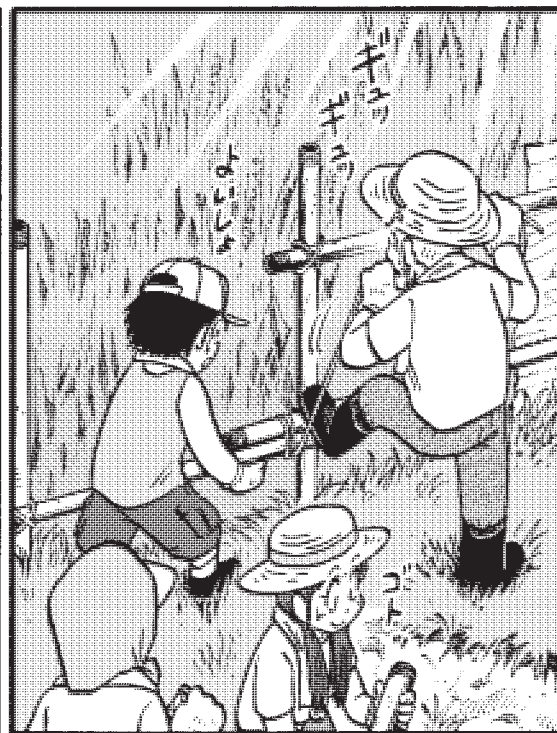
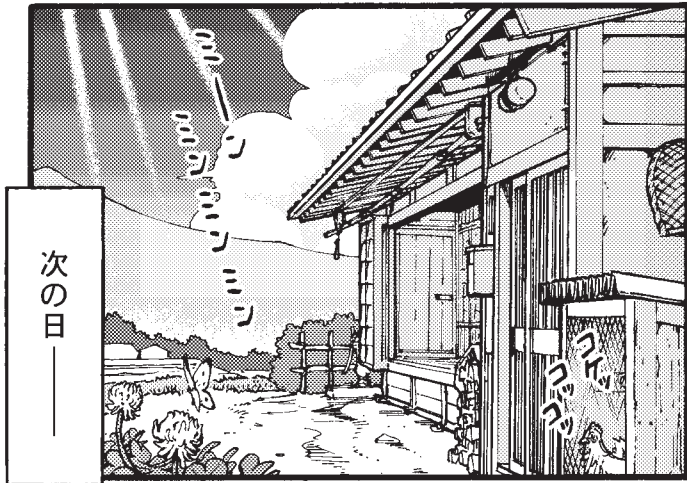
なんか色々検査けんさじゃ
出てくるけど…

自然との共生？
オレ知らないな…



それをよく
日々の自然との
関わりを
通じてわかつた
上で、

シシやシカを駆除して、
ほどよい頭数にして
いかなくはならん
思うとるんじゃ



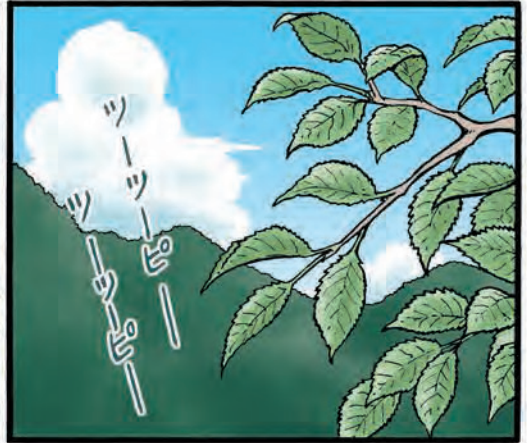
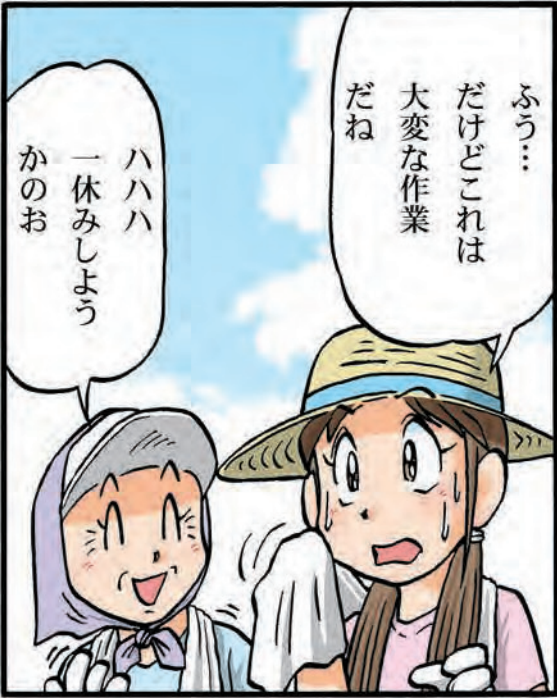
じいちゃん、
これで
だいたい
頑丈な
囲いは
できたね！

ああ
助かったぞ。
一希、美来の
おかげで早く
済みそうじゃ

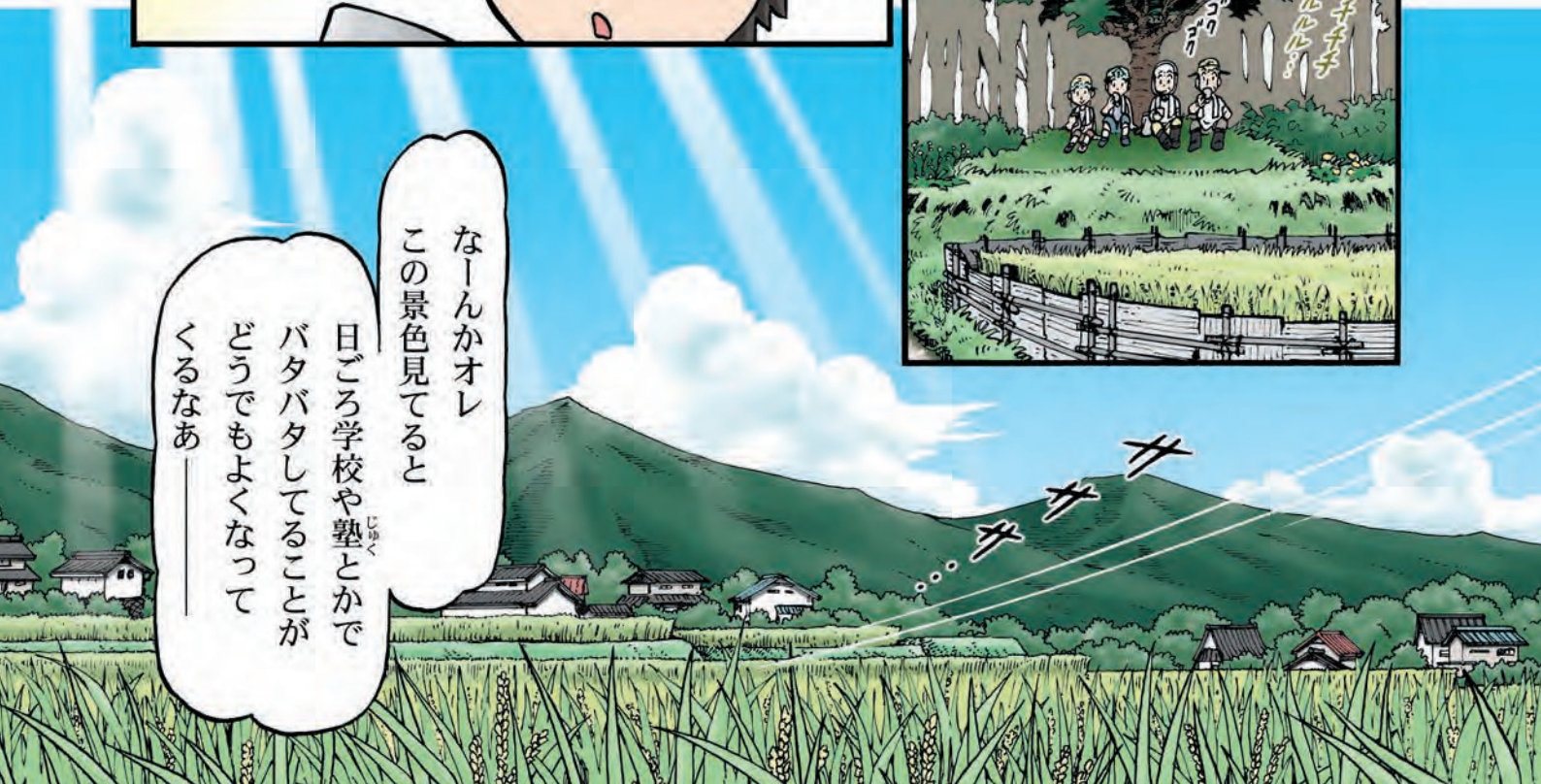


ふう…
ただこれは
大変な作業
だね

ハハハ
一休みしよう
かのお



なーんかオレ
この景色見ると
日ごろ学校や塾とかで
バタバタしてることが
どうでもよくなって
くるなあ

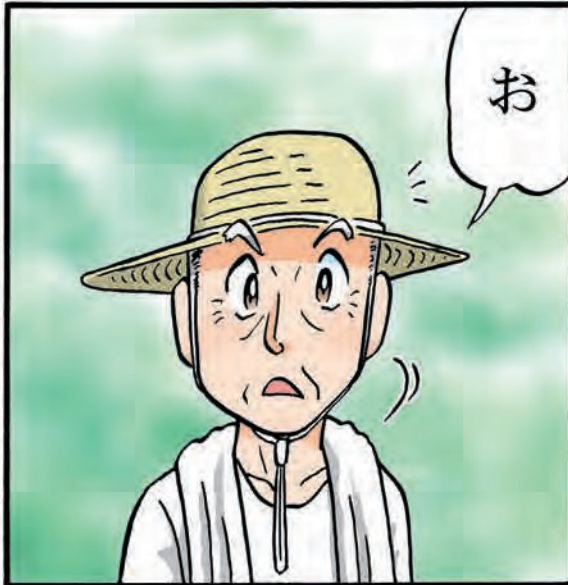


わたしも。中学に入ってテストがすごく増えてうんざりしてきてるんだよ

じいちゃんとしてはそのことにはあえてふれん



美来
もか



八本松さん、柵作りご苦労じゃのお

わしらもしっかりがんばるけえの



おお北山さんよろしゅう頼む

わしも先月、※ほかく捕獲隊補助員講習受けた

山に仕掛けたワナ見てくるけえ!

来年には狩猟免許も取って集落をもっとしっかり守るつもりじゃ



頼みます



なるほど。この町ぐるみで組織立ててみんな協力しあってるってわけか...

多くの人の協力を得てるんじゃ。北山さんだけじゃ大変じゃからの

そう
そう



※地域で一体となった取組において、狩猟免許所持者(この漫画では北山さん)でなければ、ワナ設置、止めさし(とどめ)を刺す(行為を行う)ことはできません。補助員の主な役割はワナの点検や餌置き等であり、この事により免許所持者のサポートをして、効率的な捕獲を進めるわけです。また、狩猟経験と知識のある狩猟免許所持者は補助員の育成をサポートします。

森のいろんな動物や植物、
そして田畑やわしらもみんなが
程々に満足できるぐらいに
なればいいんじゃないかのお

自然との
共生だね♪

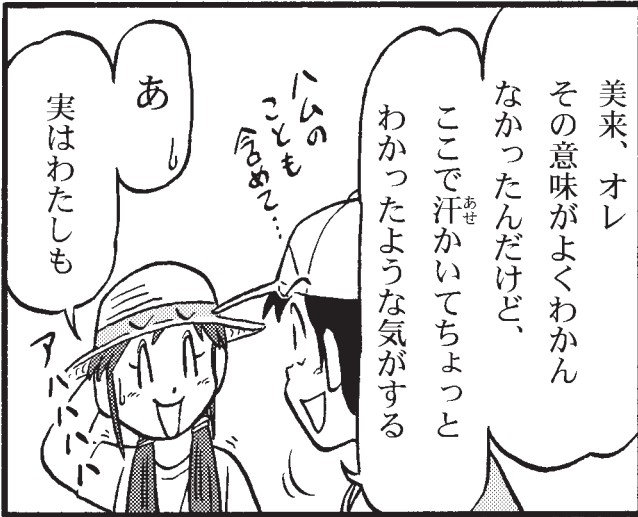


美来、オレ
その意味がよくわかん
なかつたんだけど、

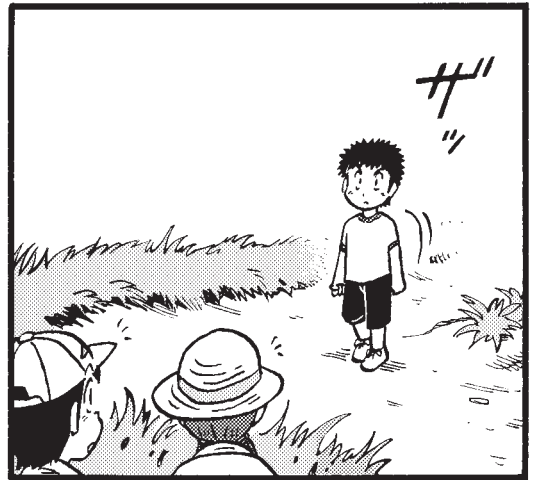
ここで汗かいてちよつと
わかつたような気がする

いふの
ことも
ある...

あ
実はわたしも

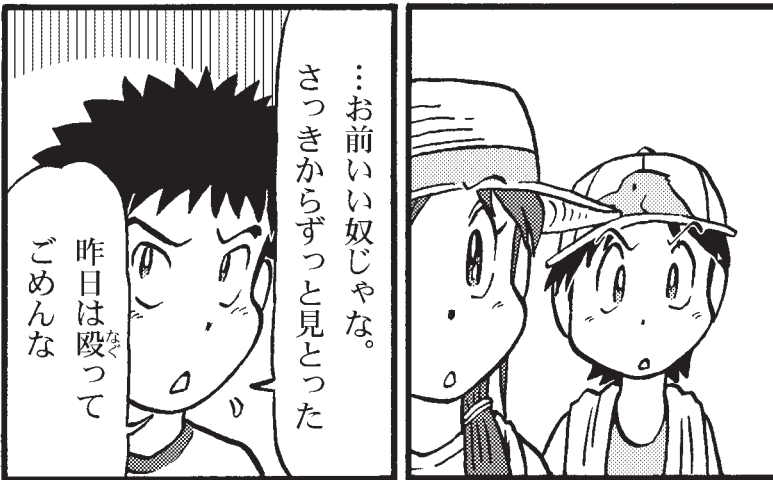


ザッ



...お前いい奴じゃな。
さつきからずっと見とつた

昨日は殴つて
ごめんな



わしの家の田んぼも畑も
シシに荒らされまくつて
気が立つとつたんじゃない



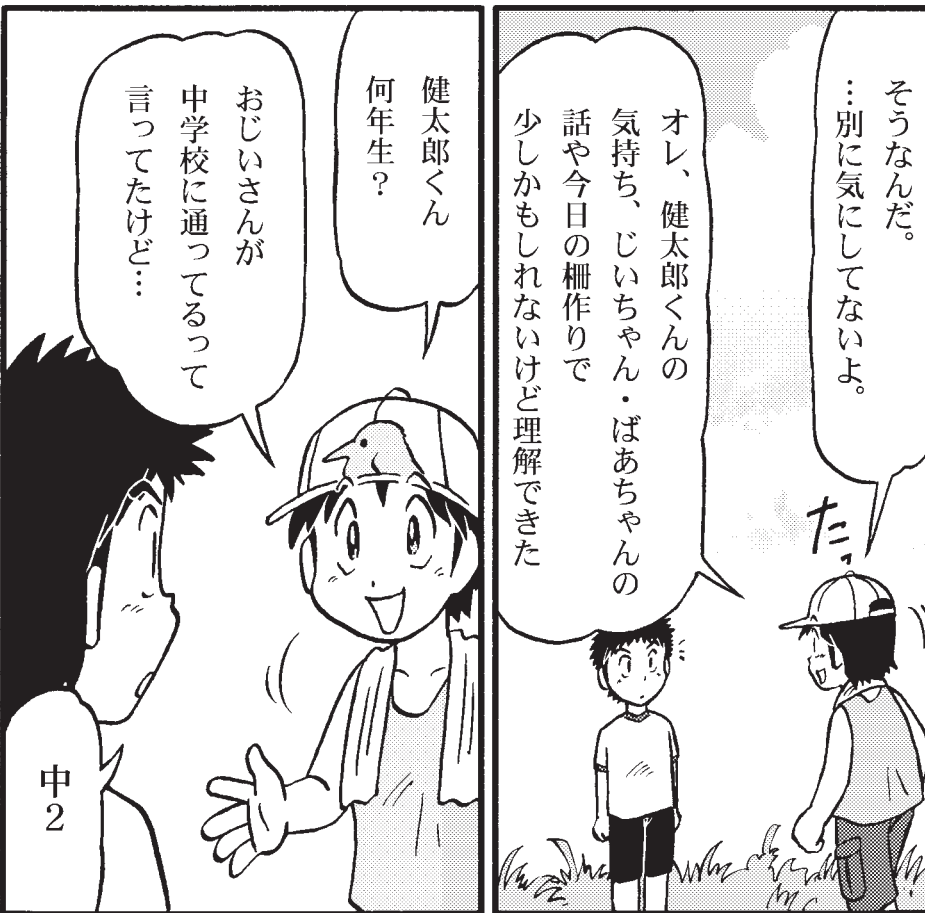
柵やワナを
家族で必死に作つた。
大変じゃつた...

そうなんだ。
別に気にしてないよ。

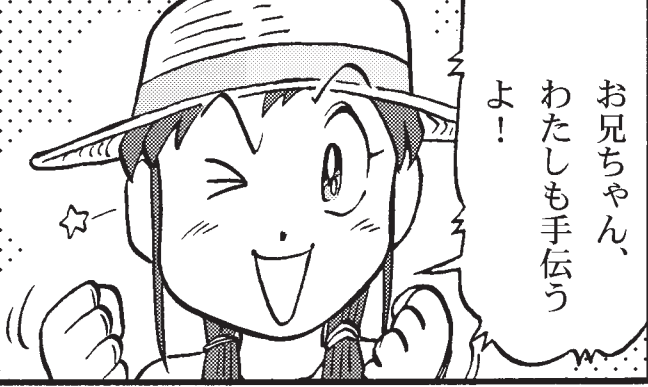
オレ、健太郎くんの
気持ち、じいちゃん・ばあちゃんの
話や今日の柵作りで
少しかもしれないけど理解できた

健太郎くん
何年生？

おじいさんが
中学校に通つてるって
言つてたけど...



中2



お兄ちゃん、
わたしも手伝う
よ！



オレと一緒じゃん！

オレ、イノシシ・シカの問題、この町の
人たちと都会の人たちがつながっていることに
この夏、気づいた！

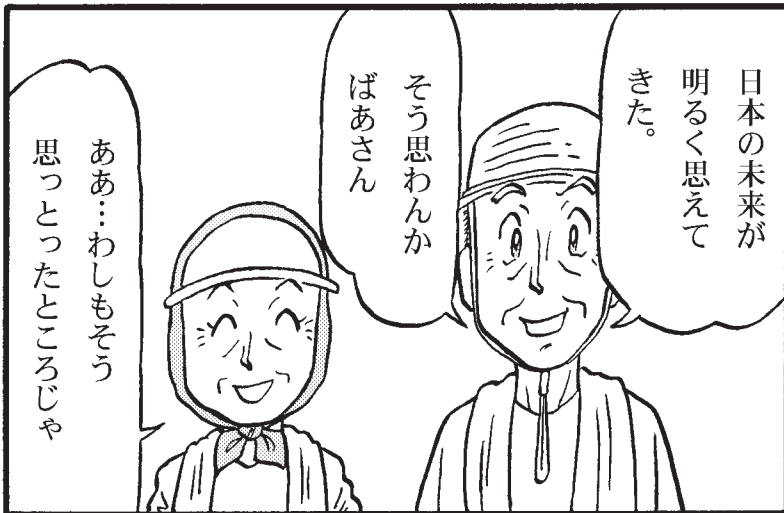
情報交換こうかんしながら
なんとかかしていけない？

みんなにもっと
理解してもらおうよう
オレ、動き始めるから！



ありがとう…

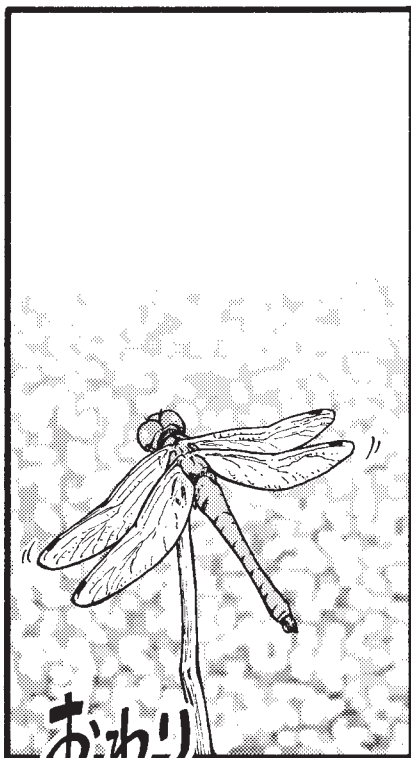
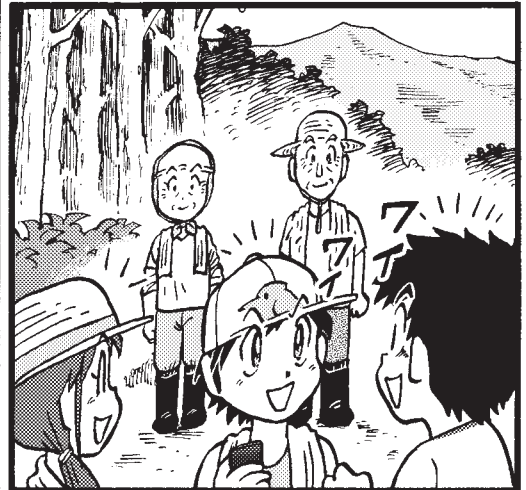
わし、この生まれ
育った町が大好き
なんじゃ…



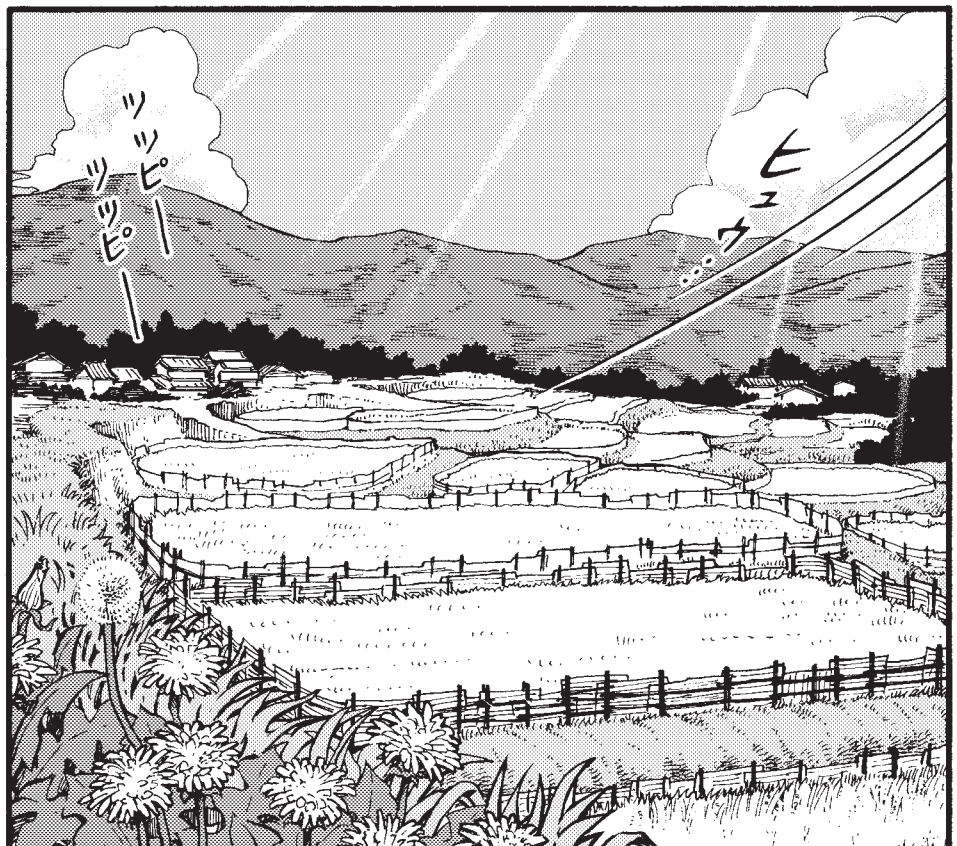
日本の未来が
明るく思えて
きた。

そう思わんか
ばあさん

ああ…わしもそう
思ってたところじゃ



おわり



■奥付■

作・画:つやま あきひこ(環境漫画家)<http://www.21eca.net/>

協力:岩間 敏彦(里山保全再生ネットワーク)<http://satoyama-saisei.net/>
小寺 祐二(博士(農学):宇都宮大学 農学部付属里山科学センター特任助教)
ケビン・ショート(文化人類学者:東京情報大学 環境情報学科教授)

作画協力:栗山 裕史(漫画家&イラストレーター)



参考文献・資料:

- ・狩猟と環境を考える円卓会議提言書 <http://www.moriniikou.jp/file/teigen.html>
- ・シリーズ日本列島の三万五千年—人と自然の環境史 1・2・3・5 / 文一総合出版
- ・日本の狩猟採集文化 / 池谷 和信・長谷川 政美 / 世界思想社
- ・オオカミはなぜ消えたか / 千葉 徳爾 / 新人物往来社
- ・栗野岳の主 / 棕 鳩十 / 小峰書店
- ・動物との契約 / デズモンド・モリス / 平凡社
- ・イノシシを獲る / 小寺 祐二 / 農文協
- ・宮崎の狩猟 / 山口 保明 / 鉦脈社
- ・鹿肉食のすすめ / C・W ニコル / 東京環境工科学園出版部
- ・環境省自然環境局鳥獣保護業務室業務資料
- * その他、沢山の自然環境関連等の文献・資料を参考に描きました。

* この漫画は事実を元に取材し、執筆したフィクションです。

* 当冊子に掲載されている文章、キャラクター等については、無断転載・無断加工を禁止しております。

* 当冊子の販売等営利目的での使用を禁止しております。

平成23年11月印刷

発行:環境省 自然環境局 鳥獣保護業務室
〒100-8975 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
<http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5.html>